

2022 年度日本小児腎不全学会評議員会議事録

日時：2022 年 12 月 8 日（木）12:30~13:10

場所：御茶ノ水ソラシティ 2 階テラスルーム

出席者（敬称略）：秋岡祐子、芦田明、大田敏之、奥見雅由、川崎幸彦、佐藤裕之、穴戸清一郎、中西浩一、野口満、野島道生、幡谷浩史、服部元史、濱崎祐子、藤枝幹也、藤丸季可、堀田記世彦、三浦健一郎、渡井至彦（18 名）

欠席者（委任状あり）：大山力、香美祥二、賀本敏行、杉谷篤、藤澤正人（5 名）

1. 第 42 回（2021 年）会長の挨拶

野島道生先生よりご挨拶いただいた。

2. 逝去会員報告

伊藤克己先生が 2021 年 3 月 14 日に逝去されたことが改めて報告され、哀悼の意が捧げられた。

3. 前回議事録確認

令和 3 年（2021 年）11 月 29 日（月）Zoom 評議員会議事録を確認した。

4. 第 43 回（2022 年）会長の挨拶

秋岡祐子先生よりご挨拶があり、開催形式で悩んだが、最終的に対面開催としたことが報告された。

5. 新評議員挨拶

藤丸季可先生（大阪市立総合医療センター小児総合診療科）、三浦健一郎先生（東京女子医科大学腎臓小児科）より挨拶があった。

6. 会計報告・予算案

2021（令和 3）年度の会計報告ならびに 2022（令和 4）年度の予算案が事務局より報告された。第 42 回会長の野島先生より 150 万円の寄付金をいただき、繰越金が 1,000 万円を超えたことが報告された。会計報告が適正なことが監事である香美祥二先生、穴戸清一郎先生の書面によって報告され、2021（令和 3）年度の会計報告と 2022（令和 4）年度の予算案が承認された。

7. 会員動向

2022 年 3 月 31 日現在の会員数は、正会員 607 名、名誉会長 1 名、名誉会員 22 名であると事務局より報告された。2018 年以降は 600 名強でほぼ横ばいで推移していることが報告された。また、学会誌の筆頭著者と責任著者は会員であることを必須としていることが報告された。

8. 評議員の退任と名誉会員の推薦

香美祥二先生、穴戸清一郎先生のご定年により、評議員の退任が報告された。

香美祥二先生、穴戸清一郎先生が名誉会員に推薦され、承認された。

9. 新評議員の推薦

石田英樹先生（東京女子医科大学移植管理科、泌尿器科）、漆原真樹先生（徳島大学小児科）、寺西淳一先生（横浜市立大学附属市民総合医療センター泌尿器・腎移植科）、青木裕次郎先生（東邦大学腎臓学講座）、岩見大基先生（自治医科大学腎泌尿器外科学講座腎臓外科学）、岡部安博先生（九州大学臨床・腫瘍外科）（外科系から5名、小児科系から1名）が推薦され、承認された。

10. 監事の推薦

香美祥二先生、穴戸清一郎先生の監事退任に伴い藤枝幹也先生、渡井至彦先生が推薦され、承認された。

11. 次々期（第45回）会長の選出

第45回（2024年度）会長に濱崎祐子先生（東邦大学小児腎臓学講座）が推薦され、承認された。

12. 編集委員会報告

第42巻（2022年8月発刊）を含む最近の学会誌の掲載論文数について報告された。第41巻（2021年8月発刊）の論文数が少ないのは前年（2020年）の学会開催がなかったためと説明された。広告費収入が年々減少していることへの対策が必要であり、出版社との交渉により従来1ページあたり11000円かかっていたが、図表トレースの質を下げることで第42巻より1ページ8600円に下げていることが報告された。また、紙媒体での学会誌発行が会員のメリットであり、紙媒体での発行を続けたい旨が説明された。

編集委員に関して、香美祥二先生の後任として漆原真樹先生が、新任として三浦健一郎先生が推薦され、承認された。

また、Renal Replacement Therapy 誌が日本小児腎不全学会、日本透析医学会、日本臨床腎移植学会、日本腹膜透析学会等の公式な英文誌であり、随時投稿が受け付けられていることが報告された。

13. 事務局業務委託について

事務局業務を委託する方向で検討していることが報告され、承認された。

14. その他

1) 優秀演題賞の応募・選考に関する申し合わせ事項が確認された。

2) 小児科学会専門医更新単位認定について

今回は現地かWebかの開催方式を直前まで検討する必要がある、その影響で申請できなかったが、来年は現地開催に向けて単位申請すること、申請作業については学会事務局が十分にサポートすることが報告された。

3) 学会収支状況

学会収支状況が報告された。メディカルスタッフは6000円から3000円へ減額していることが確認された。医師の年会費は6000円の据え置きで継続したい旨が報告された。

4) 会員構成

2022 年度の会員構成が確認された。引き続きメディカルスタッフの会員増加を図りたい旨が報告された。

15. 次期会長の挨拶

第 44 回会長の野口満先生より準備状況が報告された。2023 年 11 月 30 日(木)～12 月 1 日(金)に佐賀市内のホテル（ホテルグランデはがくれ）で開催予定。テーマは「小児腎不全診療の多角的マネジメント」とし、多職種をまきこんだ学会としたいと挨拶があった。

日本小児腎不全学会事務局

議事録作成 服部元史

議事録署名 秋岡祐子

野口満

